

豊かな学校給食を子供たちにプレゼント

18日から22日までは学校給食週間です

一月十八日から二十二日は学校給食週間です。この週間は全国の小、中学生から、自分の健康は自分で守る強い心と、多くの人々の努力と協力で、学校給食がつけられることを理解してもらおうこととあわせ、家庭や給食関係者からも今一度学校給食の重要性も再認識してもらおうねらいで設けられたものです。この週間中は、各地でもいろいろな行事が予定されていますが、本市では二十二日にカレーライスデーを計画し、学校給食の意義を子供たちから考えてもらうことにしています。

二十一日の献立は次の通りです。

- カレーライス
- 牛乳
- メンチフライ
- 野菜サラダ
- カップゼリー

学校給食の重要性 五つのポイントとは

まず、学校給食がなぜ重要なのかを考えてみましょう。

第一に、子供たちは大人と違って成長が著しく、子供たちの体作りに必要な食品に力を入れて、学校給食は作られています。

第二に、どのような食生活が健康に良いかを学ばせ、積極的に自分の健康は自分で守る力をつけ、将来エネルギーあふれる国民として、二十一世紀を背負って立つ心身を育てます。

第三に、先生と友だち同志が、同じ食事をすることで、心が通い、人間形成のうえで重要な役割を果たします。

第四に、自分たちで協力して準備や後始末をすることにより、自分から進んで働く習慣を養います。

第五に、おいしい給食は多くの人たちの努力と協力によることを知り、感謝して食事することを知ります。



二千八百食も作っている白根地区学校給食センター

県内では先進的な 白根市の学校給食

他市町村に先駆けて実施した小中学校の完全給食。また、米飯給食も、四十六年に文部省の米飯実験校の指定を受け、その成果に基づき県下のトップを切って米飯導入を図りました。

今では、パン、めん、ごはん、と、主食もバラエティーに富んだものとなりましたが、より充実した給食にするため、学校給食センターを中心に、研究と努力が続けられています。

ボランティアの輪を広げよう

あなたもボランティアセンターに登録しませんか



社会福祉協議会では、白寿荘内に「ボランティアセンター」を置き、ボランティアの登録を呼びかけています。登録は個人でもグループでもかまいません。あなたの熱意と技術を登録してください。このほか、ボランティア活動の進め方の相談と助言や、ボランティアを必要としている所へ紹介、あっせんを行っています。気軽にボランティア活動にご参加ください。申し込みと問い合わせは、白寿荘(老人福祉センター・☎3096)へどうぞ。



楽しい給食、おいしそう(白根小学校で)



12月定例会市議会

十二月定例会市議会が、十二月十六日から二十三日まで開かれ、教育委員の任命や一般会計補正予算など十四議案を審議。五十五年度一般会計決算、国保会計決算の認定の二議案は継続審査に、他の十二議案は原案どおり同意、可決されました。主なものをお知らせします。

一億九千万円を追加

五十六年度一般会計予算に一億九千三百五十八万円を補正、予算総額は六十五億九千四百四十一万円になりました。補正し

た主なものは、人事院勧告による職員給与の改正や、生活保護費、ごみ・尿処理負担金、野菜指定産地整備事業補助金、道路改良舗装などの追加です。また、ガス・水道事業会計予算も補正されました。なお、九月議会に出され継続審査となっていた五十五年度ガス・水道事業会計決算が認定されました。

教育委員に関根さん

任期満了に伴う教育委員に、関根利也さん(茨曾根)が再任されました。任期は四年です。

採択された請願

□小林地区に公立保育園の建設 「市内で公立保育園がないのは小林地区だけです。多くの幼児が平等に整った施設で保育が受けられるよう、一日も早く公

立の保育園を建設してください」と、小林地区の区長会などから出されたものです。

白根保育園の移転改築

「白根保育園は昭和二十三年に建設されたもので、老朽化が激しく、また保育室や遊戯室なども狭く、園児が伸び伸びと活動することができません。それに施設の付近の交通も激しいため、一日も早い移転改築をお願いします」と、白根保育園の関係者から出されたものです。

また、新潟市天野地区の住民から「天野地区を白根市に編入してほしい」と、九月議会に出され、継続審査となっていた請願も採択されました。

可決された意見書

□国民健康保険給付費の都道府県一部負担導入に反対

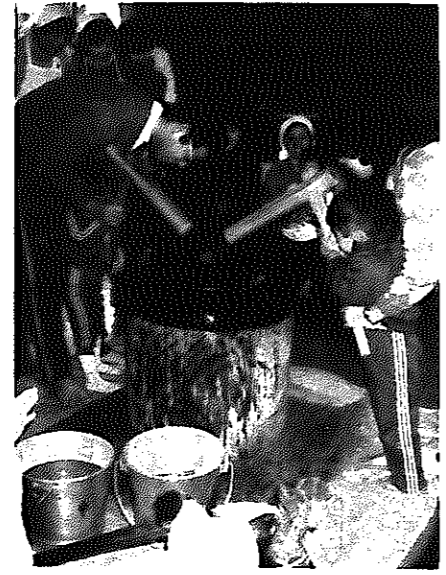
「臨時行政調査会の一次答申を受け、厚生省は国保の療養給付費補助金の一部を都道府県に転嫁することとしています。この措置が強行された場合、市町村財政にも大きな影響を及ぼすことになり、行政改革の趣旨及び地方財政の現状から絶対に容認できない」という内容で、この意見書は内閣総理大臣をはじめ関係大臣に送られます。

スパイ防止法制定の促進

「現在、世界各国において防衛、外交上の重要な国家機密を保持するための法律が定められています。我が国ではいまだに制定されていません。平和で安全な国民生活を守るため、スパイ防止に関する法律の早期制定を図られるよう要望します」という内容で、この意見書は内閣総理大臣、総務府総務長官に送られます。

農業青年がもちつきをプレゼント

「もちつきを、子供たちと一緒にやるう」と十二月十日、農業青年サークルのメンバー十人が「つくし園」を訪れ、もちつき大会を開きました。「ベッタ、ベッタ」ともちつき歌を合唱するなかを、サークルのお兄さんと子供たちが一緒にキネを振りおろし、とても楽しそう。つきたてのもち雑煮やあんもちにつくられ、輪になってみんなおいしそうに食べていました。初めてもちをついた子どもも多く、子供たちには楽しい一日となったようです。



まちの話題



事故防止は家庭教育から 交通安全母の会が研修会

「交通安全は、まず家庭教育から」と、12月2日、青年教育センターで市交通安全母の会研修会が開かれました。交通事故のドキュメント映画や、浅利保道大郷小教頭による「交通安全と家庭教育」の講演に、参加した50人の母の会役員は、より家庭教育の大切さを感じていました。



車のドアロックは忘れずに 本町通りなどで防犯診断を実施

防犯運動期間中の12月2日夜、市防犯協会白根支会が、本町通りや中央通りなど4か所で車やバイクのキーのかけ忘れなど調べる防犯診断を行いました。相変わらずキーのつけっぱなしや、ドアロックをしていない車が多いという診断結果が出ました。同会では「車から離れるときは、必ずキーをぬきドアロックも忘れずに…」と呼びかけています。